

交通安全リーダーと語る会



6/9（木）に「交通安全リーダーと語る会」を行いました。ここ2年間は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開催することができませんでした。しかし、今年は新規感染者数も少なくなり、3年ぶりに開催することができました。ソーシャルディスタンスを意識しながら、5・6年生が自分たちの意見を出し合いました。最上級生として2か月間取り組んできて、自分たちの登下校の様子や地域で遊んでいるときの様子を振り返りながら、

「危険箇所」、「危険な行動」などについて熱く語り合いました。話し合いの中で、道路が狭いために歩道（グリーンベルト）が狭くなっているところについて、「もっと歩道を広くしてほしい!」といった意見が出ました。それに対して「歩道を広くしたら、車が通れなくなってしまう。だから、気を付けて歩くしかない。」といった意見が出るなど、子供たちが真剣に考えている姿が見られました。富士警察署の方々も子供たちの真剣な姿に「交通安全リーダーとして真剣に取り組んでいていいですね。」とおっしゃっていました。



今回の話し合いがゴールではなく、今後また5年生とともに考え合う機会を持ちながら、さらに交通安全に対する意識を高めていこうと考えています。ぜひご家庭でも交通安全について語り合ってみてください。



第3回たてわり活動



異学年の子供と交流する「たてわり活動」ですが、早いものですでに3回実施しました。とても緊張したと言っていた6年生の子供たちですが、3回目ともなるとグループ内でしっかり計画するようになりました。

3回目となった今回は、大きな絵本や紙芝居を使って、下級生に読み聞かせを行いました。当日に向けて、休み時間を利用してグループごとに練習していました。「ゆっくり読もう。」「はっきりと読まないといけないよね。」などと声を掛け合いながら練習する姿に、子供たちの成長を感じました。昼休みの15分間ということで時間に追われてしまうところがありましたが、そのような中でも6年生が一生懸命読み聞かせをしていたので、下級生はとてもうれしそうに聞いていました。いつもとは違う大きな本を読んだので、低学年の子供たちはとても興味津々でした。今回の活動により、さらに自信を抱いたように思います。

